産科・婦人科領域の研究を助成

神澤医学研究振興財団「第21回講演会」

免疫学的視点による生殖現象研究

神澤医学賞の甲賀東大准教授が講演

公益財団法人神澤医学研究振興財団（神澤陸雄理事長）は6月7日、ホテルオークラ東京で同財団主催の「第21回講演会」を開催した。財団関係者、招待者および出捐企業であるキッセイ薬品工業株式会社の関係者等が出席し、各研究者の研究成果発表に耳を傾けた。

同財団は、平成9年6月設立以来、周産期および高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する成因、予防、診断、治療等の多角的な研究を奨励するための助成事業および優れた研究成果に対する褒賞事業を行っており、毎年この時期に、その研究成果発表のための講演会を開催している。

当日は、研究発表に先立ち神澤陸雄財団理事長（キッセイ薬品工業株式会社代表取締役会長）が、「我が国における少子高齢化問題は将来への社会経済的な深刻な課題でありますが、当財団では、その基本的な対策の一つとして、子供を産み育てる女性の健康の保持・増進を図ることが重要であると考え、周産期並びに高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する成因、予防、診断、治療等に対する研究助成事業を進めております。本日ご発表いただく研究成果が、女性医学研究の発展に貢献することを確信するとともに、先生方にはこれを契機にますますご活躍されることを期待します」と挨拶した。

財団を代表して挨拶する神澤陸雄理事長

続いて、平成29年度に研究助成金を交付された先生方から研究成果が発表され、活発な討論が行われた。次いで、この分野で先見的・独創的研究により顕著な功績をあげた研究者に贈呈される第21回神澤医学賞（研究褒賞）贈呈式が行われ、平成30年度受賞者の東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座の甲賀かをり准教授から、「免疫学的視点による生殖現象の生理・病理の解明と臨床応用に向けた研究」の演題で受賞講演が行われた。

甲賀准教授は、子宮内膜の増殖・脱落膜化におけるサイトカイン、血管新生因子、細胞増殖メディエーターの関与についての研究に端を発し、子宮内膜と初期絨毛との免疫学的相互作用の研究、さらにはその相互作用の異常が原因とされる妊娠高血圧症候群や早産の病態解明の研究に発展させた。一方、子宮内膜の異所性発育が原因とされる子宮内膜症に関しては、腹腔内・病巣内免疫担当細胞やサイトカインに関する研究ならびに免疫学的制御による本症治療戦略に関する基礎的研究を検討した。これらの研究は、産婦人科臨床医の視点で常に産婦人科各種疾患の新規診断・治療等の臨床応用に寄与するよう立案され、その研究成果は本邦並びに欧米の疾患治療ガイドラインに反映されるなど、臨床現場においても卓越した業績をあげている。

講演する東京大学大学院の甲賀かをり准教授

医療面からの少子化対策

神澤医学研究振興財団は、日本におけるもっとも深刻な課題の一つである少子・高齢化問題に対し、女性の健康保持、増進を図るための産科および婦人科医療の分野における医療面からの貢献を目的に平成9年6月に設立された。以来、周産期および高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する成因、予防、診断、治療などに資するための多角的な研究の奨励事業を行っている。

同財団設立にあたっては、当時のキッセイ薬品工業代表取締役会長・神澤邦雄の私財と、同社から創業50周年を記念して資金が提供された。22年6月には、内閣府公益認定等委員会より公益財団法人への移行認定を受け、同年7月「公益財団法人神澤医学研究振興財団」へ移行した。

これまで（平成9年～30年）に神澤医学賞20件（5900万円）、研究助成217件（2億4700万円）、海外留学助成82件（4100万円）の褒賞・助成事業が行われ、その研究成果は広く公表され、医療・医学の発展に寄与している。

財団の概要

名称	公益財団法人　神澤医学研究振興財団
所在地	〒399-8710 長野県松本市芳野19番48号
行政庁	内閣府
設立	平成9年6月27日
公益財団移行	平成22年7月1日
出捐者（しゅつえん）	故・神澤邦雄、キッセイ薬品工業株式会社
設立経緯	当時のキッセイ薬品工業株式会社代表取締役会長神澤邦雄からの私財の提供、およびキッセイ薬品工業株式会社からの創業50周年を記念しての資金提供により設立
基本財産	1,956,355,360円
設立目的	周産期を中心とするリプロダクティヴ・エイジ（出産適齢期）および高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する成因、予防、診断、治療等の多角的な研究（以下、対象研究）の奨励等を行うことにより、医療・医学の発展を図り、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする
事業内容	目的達成のため以下の事業を行う (1)対象研究に関する優れた研究成果に対する褒賞（神澤医学賞） (2)対象研究に関する研究助成 (3)対象研究に関する海外留学助成 (4)対象研究に関する講演会の開催
研究褒賞・助成計画	神澤医学賞（研究褒賞）　1件 300万円　1件 研究助成　1件 150万円　10件 海外留学助成　1件　50万円　4件

公益財団法人 神澤医学研究振興財団「第21回講演会」プログラム

Ⅰ. 開会挨拶
理事長 キッセイ薬品工業株式会社 代表取締役会長　**神澤　陸雄**

Ⅱ. 第21回助成研究発表
司　会　評議員　社会福祉法人康和会　久我山病院 病院長　**岩下　光利**氏

<1> ヒト胎盤幹細胞三次元培養モデルを用いた妊娠合併症の分子機構の解明
東北大学大学院医学系研究科　情報遺伝学分野　**岡江　寛明**氏

<2> 新規非侵襲性イメージング法を用いた卵子染色体異常の診断・治療法の開発
大阪大学微生物病研究所　附属感染動物実験施設　**佐藤　裕公**氏

<3> ヒト未成熟卵子から単為発生胚盤胞における、卵子加齢性変化とタイムラプスによる動的変化および内細胞塊の関係性
秋田大学大学院医学系研究科　医学専攻機能展開医学系　産婦人科学講座　**白澤　弘光**氏

<4> 妊娠中の糖尿病治療薬の使用と児の奇形・発育・発達との関連に関する研究
東北大学病院　薬剤部　**小原　拓**氏

<5> 制御性Ｔ細胞による免疫制御機構に基づく子宮内膜症病態メカニズムの解明
京都府立医科大学大学院　女性生涯医科学　**田中佑輝子**氏

司　会　評議員　東京大学大学院医学系研究科
生殖・発達・加齢医学専攻　産婦人科学講座　教授　**藤井　知行**氏

<6> 腸ー骨連関を担う中枢としての腸上皮センシング機構の解明と閉経後骨粗鬆治療への応用
大阪大学世界最先端研究機構　免疫学フロンティア研究センター免疫グループ　**丸山　健太**氏

<7> 骨粗鬆症克服を目指した新たな骨芽細胞シグナルネットワークの解明
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科学　**松本　佳則**氏

<8> ヒト脳オーガノイドを用いたエストロゲン欠乏に伴う精神症状の解明
奈良県立医科大学医学部　未来基礎医学教室　**森　英一朗**氏

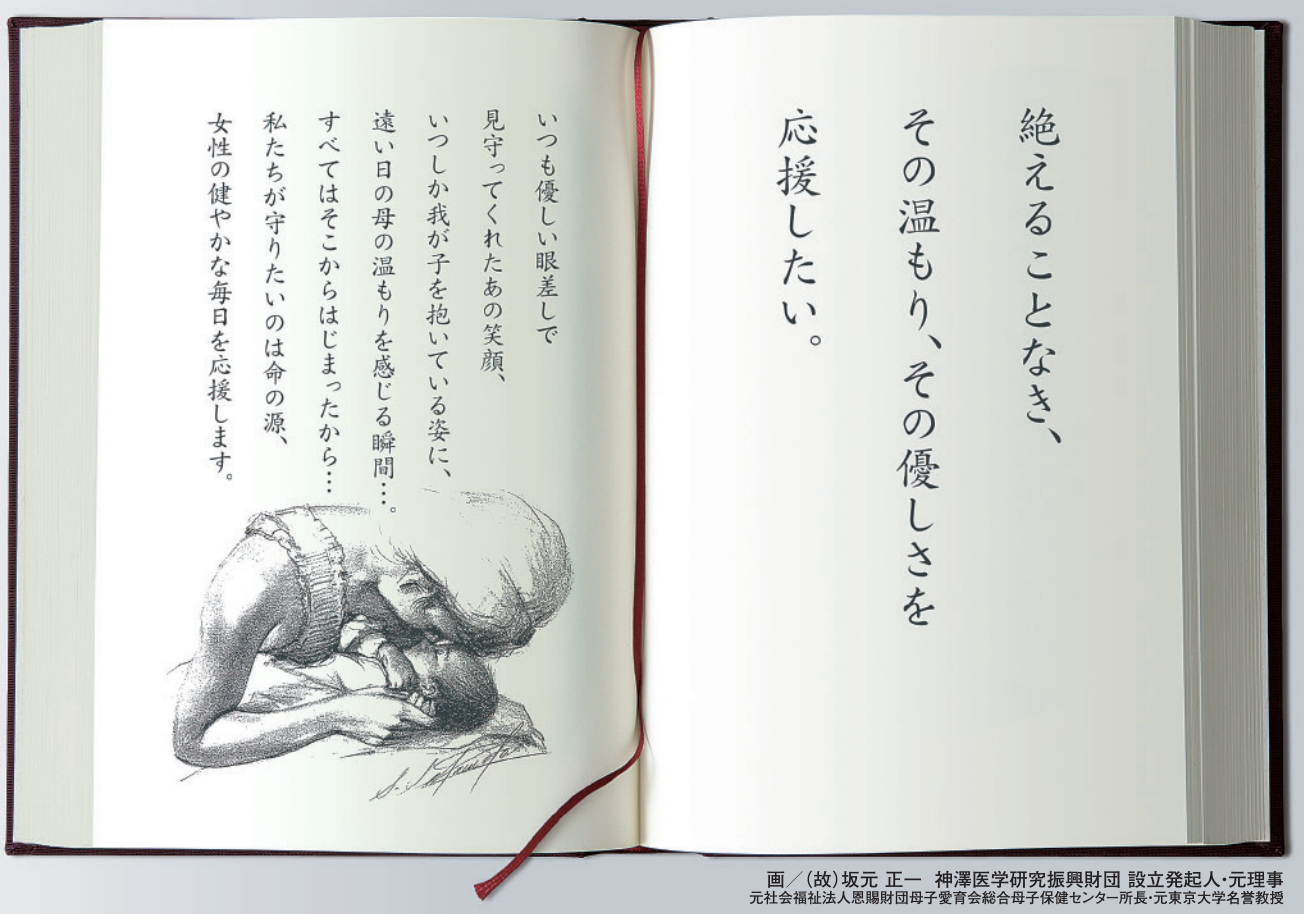
<9> トリプルネガティブ乳がんに対する新規核酸による直接的な作用と免疫系を介する間接的な作用によるデュアルな腫瘍抑制
北海道大学遺伝子病制御研究所　病因研究部門分子生体防御分野　**佐藤　精一**氏

<10> 卵巣上皮幹細胞ステムネスに着目した肥満における卵巣癌発癌メカニズムの解明
東京大学医学部附属病院　糖尿病・代謝内科　**五十嵐正樹**氏

Ⅲ. 第21回神澤医学賞贈呈式

Ⅳ. 第21回神澤医学賞受賞講演
司　会　評議員　東京大学大学院医学系研究科
生殖・発達・加齢医学専攻　産婦人科学講座　教授　**藤井　知行**氏

免疫学的視点による生殖現象の生理・病理の解明と臨床応用に向けた研究
東京大学大学院医学系研究科　産婦人科学講座　**甲賀　かをり**氏



画／(故)坂元 正一　神澤医学研究振興財団 設立発起人・元理事
元社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター所長・元東京大学名誉教授

子どもを安心して生み育てられる社会を目指すために、そして女性の一生が健やかであるために、心身ともに健康でいられる環境の整備が求められています。
私たち神澤医学研究振興財団は、子どもを生み育てる女性及び高・老年期の女性に発現するさまざまな疾患に関する成因、予防、診断、治療等の多角的な研究に対して助成を行っています。

神澤 陸雄　公益財団法人 神澤医学研究振興財団 理事長
【設立】平成9年6月27日
【設立経緯】当時のキッセイ薬品工業代表取締役会長神澤邦雄からの私財の提供、及びキッセイ薬品工業株式会社からの創業50周年を記念しての資金提供により設立

公益財団法人 神澤医学研究振興財団
長野県松本市芳野19番48号
https://www.kissei.co.jp/fund/fund.htm